

	全専攻		専攻選択科目		
自然環境教育基礎理論 Method of Environmental Education	1年	後期	2単位	選択	講義
	担当者(部屋番号)				
	関 智子 (752)				
【 授 業 目 標 】					
<p>環境教育プログラムを運営する場合に必要なとされる基礎知識と実践力を身につける。ここでは「青森の自然環境と暮らし」に着眼し、文献研究、フィールドワークを通して地域の環境について考察する。またそれを基に、自然環境教育プログラムを立案することが目的である。</p>					
【 授 業 方 法 】					
<p>本講義ではグループワークを多用する。主な方法は①各テーマにそった調査実習の企画、立案、準備活動、フィールド調査実習の運営を学生が主体的に行うことによって実践的能力の向上をはかる②フィールド調査実習をもとに、自然環境教育プログラムを企画する③実施要項、報告書等の作成によって進行する。(内容によっては、学生自ら企画した自然環境教育プログラムの指導を小学生を対象に実際に行ってもらふことがある)</p>					
【 授 業 計 画 】					
<ol style="list-style-type: none"> 1 講義ガイダンス 2 指導者のためのリスクマネジメント 3 わが国の自然環境教育の動向 4 多様な自然環境教育プログラムの方法 5 効果的な自然環境教育について考える 6 フィールド調査実習の企画① -テーマ・場所・対象者の設定- 7 フィールド調査実習の企画② -調査内容の精査- 8 フィールド調査実習の企画③ -日程・運営案の作成- 9 フィールド調査実習 10 環境教育のプログラミング① -長期計画- 11 環境教育のプログラミング② -対象者とフィールドの特徴をとらえたプログラム- 12 自然環境教育プログラムの立案① 13 自然環境教育プログラムの立案② 14 自然環境教育における指導上の留意点 15 まとめ 					
教科書	なし(資料)		評価方法	出席率、実施要項・報告書の内容、グループへの貢献度により、総合的に評価する。	
参考書	適宜		留意点	自然保護論とリンクしているため、両科目をとることが望ましい。自然環境教育プロ指導者認定を目指す人は必修。	